『地雷ちゃんはマスクを脱がない』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『地雷ちゃんはマスクを脱がない』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『地雷ちゃんはマスクを脱がない』を読んだことのある20代～50代の男女30名
調査期間	2025年10月17日～2025年10月18日 2025年11月17日 2025年12月15日 2026年1月15日 2026年4月1日 2026年4月15日 2026年7月13日 2026年10月27日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/zirai tyanhamasukuwonuganai/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：『地雷ちゃんはマスクを脱がない』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

20代男性	3人
20代女性	0人
30代男性	12人
30代女性	2人
40代男性	5人
40代女性	7人

50代男性	0人
50代女性	1人

Q2:『地雷ちゃんはマスクを脱がない』の感想を教えて下さい。

『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第一話』	マスクをしていてもちゃんと顔は見えている。体だって。それなら全然いいじゃんと思っちゃいますが、マスクしたままだとキスできないんですね。そりゃちょっと困るかも。それにしても素顔を視ちゃダメとかなにか深い理由があるのでしょうか。ダメと言われたら更に外したくなる。マスクを上にあげたり、ちゃんと工夫してるのがかわいい。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第一話』	彼氏にすらマスクを取ったところを見せない謎のゴス美少女(推定)とのラブラブを描いた作品です。確かにタイトル通り、脱がされようが触られようがマスクだけは取らないという徹底ぶりでした。でもキスは、マスクをちょこっとだけめくってくれるんですよね。それがあるから特に問題なく話が進み、細部まで楽しめる感じです。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第二話』	円のメイド服姿がとても可愛くて、地雷系の服装の時とのギャップも感じられて良かったです。相変わらずマスクをしたままの鉄壁ガード状態ですが、このマスク姿も彼女のチャームポイントと言っても良いのではないでしょうか。メイド服を着たことによって、主人公の言うことをおとなしく聞いたり、ご奉仕する状態になっているところも可愛かったです。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第二話』	ダーク系な雰囲気もいいですが、これもまたいいですね。とにかくマスクを外さない彼女ですからこだわりありまくりかと思いきや、アルバイトであれば・トモダチがいないところであればいいんですね。それにしてもメイド姿がなんて似合うのでしょう。こんなのにご主人様なんて言われたらキュンキュンしちゃいます。それでもマスクなのもいい。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第三話』	地雷ちゃんの聖地に行くことになります。似たようなのがいっぱいいて、でもその中でもやっぱり彼女が一番かわいい。見失っちゃ嫌ですよなんて言われて、見失うわけないでしょう。マスクをしてても全然かわいらしい。それにしても、こんなところにやってくるなんて主人公くんはほんとに彼女のことが好きなんですね。そしてそのあとはネカフェで。若い二人だから当然の流れか。そう思っていたら、まさかの展開に驚きました。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第三話』	確かにライブイベントではあるのですが、ここまで同じような人がたくさんいるのはあり得るのでしょうか。そもそも服を脱いでも本人そっくりなんてまずありえません。全くの別人なのか、はたまた双子の姉妹とかでしょうか。とうとうマスクを外しましたが、本当にあの顔が円なのかどうかも気になってきました。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第四話』	こんな周囲に女性ばかりいたら目移りしてしまいそうだと思った。あれで女忍者のような名前のしのぶさん。ミステリアスな雰囲気はとても似合っていて、すごく真面目な女性という感じ。周囲にいる女性のキャラクターがそれぞれ異なるので、個性が溢れていると思った。ただ、美人を揃えてるだけでない点が好感が持てると感じた。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第四話』	まさかの展開でした。現在版のくノーってことでしょうが、本当にこんな人が現実にもいるかもしれませんね。これまでは現実的ではありませんでしたが、最近の技術の発展具合を考えると、他人そっくりに変装するなんて意外と簡単なのかもしれません。現在版くノーの忍さんがいいキャラしてます。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第五話』	まさかのライバル出現。これぞダイナマイトボディと言うのでしょうか。また違った魅力たっぷりで見入ってしまいます。ハーレム状態でどちらも選べればいいのですが、もちろんそんなわけにはいきません。何しろ師匠ですからあちらが有利か。どうなってしまうのか、ずっと見てきた我々読者としてはハラハラドキドキの展開ですね。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない	師匠は忍さんの差し金なのでしょうか。そうだとすると本当に徹底していますね。情報をすべて知っているだけでなく、和也の初めての人を隣に引っ越しさせるのですから。あと、前話から引き

第五話』	続き師匠とのシーンしかありませんでした。そろそろ地雷ちゃんの円とのシーンを描いてほしいです。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第六話』	すごいフェロモンですね。脇だけかと思いきや、まさかの二段構え。わかっていてもあれにはさすがに耐えられないでしょう。同級生から溝みたいな匂いと言われたといっていましたが、それが本当かどうかも気になる。あと、顔芸はちょっと気持ち悪かったかな。あれはいらないかも。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第六話』	無事に鳴を奴隷にすることができた和也ですが、ばっちりその現場が撮影されていました。果たして、鳴が敵となるか、このまま和也の奴隷として味方になるのかが気になります。和也の友人が普通にクズなので、友人には何らかの罰が下ってほしい。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第七話』	久しぶりに円ちゃんのシーンが見れて良かったです。ここ最近サブキャラのシーンばかりでしたが、やっぱり円ちゃんが一番いいですね。しかも、すっぴんでも美人。柔らかそうな肌なのは変わらないし、本当魅力的な女の子です。とはいえ、和也がやばい状況に変わりありません。次の話ではまたもや現代の忍者が動き出しそうです。
『地雷ちゃんはマスクを脱がない 第七話』	危機的状況に追い込まれて、和也が出した結論が連れ出すこととは。相当稚拙で、やってはいけない選択だったと思います。正面切って、別れないと伝えたほうが良かったのでは？そりゃ忍さんも怒りますよ。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第八話	なんともまぁ怖い表情です。自分のことについて少し触れるだけでもアレほど怒るって相当ですよね。何が円をあそこまで怒らせたんでしょうか。そろそろ物語の核心となる話になりそうです。10話くらいで完結でしょうか。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第八話	今回はかなり濃厚なお話でした。大人向けのシーンという意味でですね。とにかくしまくる。体力がなくなるまで、愛し合うので非常に見応えがありました。そして、最後の最後にまさかの展開。とうとう和也は円の逆鱗に触れてしまいましたね。いつかはそうなると思っていましたが、まさかあそこまで怒るとは思いませんでした。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第九話	出てくる女の子が相変わらず皆かわいい。イライラしがちな音符川の反応とかも好きだけど、やっぱり円のミステリアスな魅力に圧倒されてしまいますね。マスクで顔隠しつつ身体は大胆に見せるのが最高です。追い詰められつつも和也は欲望まみれだしキャラもブレない。全体的には90年代ノリで作風とか古く感じるんですが、懐かしさを求めている人にはちょうどいいと思います。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第九話	大学の学生課から呼び出されてしまいピンチに陥ってしまった和也君。かなり怖いおじさんたちにジロジロ見られながらのお話になったわけですが、そんな時でもいろいろとオトナな行為のことを思い出しちゃう底抜けなところが本当に好きです…！迫力あるオトナ漫画ではあるのですが、ストーリーも結構面白いんですよね。ストーリー自体は、中年男性向けの漫画雑誌のような感じで、普段あまり読まない内容ですがハマってしまいました。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第九話	とってもかわいいらしくてプロポーションもバツグンで、それだけでもすばらしいのにまさかの超巨大企業グループのご令嬢だとは。天は一人の女の子に二物も三物も与えるのですね。ただしこれも許される秘密だったとは。それよりもっと素顔の方がばれてはならない秘密。優先順位がよく分かりません。ぜひとも素顔を拝見したい。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十話	今回の主役は完全に音符川ちゃんです。いきなり庇ったかと思ったら、結局は和也とやりたいだけ。そのシンプルな目的意識が逆に素直さを感じて可愛いです。わりと肉食系だったり、それにしては照れ屋だったり、キャラの魅力も爆発しています。激しいプレイは相変わらずですが、控えめなサイズにドキドキしてしまう読者は多いと思います。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十話	自分からグイグイ誘ったと思ったら、今度はすごく恥ずかしそうな表情をしていたり…とにかくギャップがたまらなく可愛いです！個人的には地雷ちゃんの毛の部分が結構ハッキリと見えるところが良いなぁと思いました。すごくリアルです。後はタトゥーシールを貼るコマがあるのですが、こういうのが好きな方にはたまらないと思います！
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十話	退学、そして逮捕。主人公は大ピンチですね。それでも変わらずマスクは脱がない。ここまでされると素顔がほんとうに貴重なものとなりますね。最終回ともなればマスクを外すとき来るのでしょうか。ピンチですが、さすがにそのピンチの元凶となる相手本人が謝罪となれば不問になりますよね。においで元気づけるってのがおもしろい。

地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十一話	メインヒロインは円なんですけど、鳴も相当可愛いですね。従順な姿にドキドキしました。個人的には、大人向けのシーンはこれまでで一番ですね。鳴推しになってしまいそう。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十一話	たしかに、隣に住んでいたら、誰の声か判別できますよね。はたから見れば、彼女以外の女の子を連れ込んでいるわけですし、姉のように面倒を見てくれている恵琉からしてみれば怒って当然です。まぁ事情を話すことで協力関係にもなりそうですけどね。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十二話	タイプの異なる美女二人から攻められるって理想的すぎるシチュエーションです。鳴も今では丸くなってすごく可愛いし、かなり見どころ満載でした。この漫画って基本大人向けのシーンがメインで描かれているので、本当に内容が濃い。特に下からの画角が最高でした。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十二話	大人向けの描写だけで見るなら、大ボリュームすぎるのですが、物語が結構いいところで終わってしまったのは消化不良感がありました。できれば、二人のシーンが終わるところまでは収録してほしい気持ちはあります。結局、和也はオルタのままですしね。でも、鳴が和也の顔に乗っているのはすごく、いいですね。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十三話	忍が忍術を使ったと思ったら、恵琉も理由のわからない能力を持っていたとは。こんな能力があったら、もっとすごい仕事をしていそうなものですけどね。大人向けのシーンは相変わらずの濃厚なクオリティ。音符川の反応の仕方が良かったですね。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十三話	3人でするシーンはやっぱり迫力がありますね。画面がスタイルの良い二人で埋め尽くされていて、肉感がヤバいです。個人的には大人向けのシーンは、この3人のシチュが一番好きですね。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十四話	これまでもフェロモンとか忍術とかファンタジーな能力がありましたが、分身までしてしまうと、もはやどこに向かっているのかわからなくなってしまいますね。和也のオルタ要素も良くわからないし。とは言え、次の話でそろそろオルタが何者なのかについても判明しそう。
地雷ちゃんはマスクを脱がない 第十四話	ジェネリック円ちゃんが可愛すぎるし、読んでいて、実は本物の円ちゃんが逆に演じているんじゃないかって思ったんですが、やっぱり忍さんでした。しかも、あの何かを企んでいそうな表情がやばすぎます。本当に、忍さんの目的がわからなくなります。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス